

知覚動考

寒河江市立南部小学校
校長室だより
校長 白田 敏幸

「誰一人取り残さない 子供が育つ学校づくり」

2つの自尊感情

よく、「低い」と言われる自尊感情。子供だけでなく、我々大人にとっても非常に大切な感情の一つだと思います。

今回は、「教師にできる自殺予防～子どものSOSを見逃さない～」高橋聡美 著 の中にある自尊感情について紹介します。子供に接する際に役立てることができないのではないのでしょうか。

2つの種類の自尊感情

「**基本的自尊感情**」 と 「**社会的自尊感情**」

①基本的自尊感情とは…

自分をかけがえのない存在として丸ごと認められるもの

「生まれて来てよかった」「自分に価値がある」「このままでいい」

絶対的かつ無条件で根源的で永続性のある感情

②社会的自尊感情とは…

うまくいったり、ほめられたりすると高まるが、……

失敗したり叱られたりすると低くなる。

「できることがある ⇒ できないことがある」

「ひとより優れている ⇒ 負けると落ち込む」

相対性、条件的、表面的で際限がなく、一過性のもの

私はこれまで、「社会的自尊感情」に目が向いていたように思います。できるだけ子供を誉めてあげよう、声をかけてあげようと。このことも大事ですが、それ以上に、「**基本的自尊感情**」を高めることが大事なのではないかと思いました。社会的自尊感情の方が高い子供は、失敗した時に折れやすいのだそうです。

変化の激しい社会を生き抜いていくためには、基本的自尊感情を高めることが大切だと思います。

子供一人一人を丸ごと認めること、これが、「自ら育つ」ための大切なエネルギーになります。